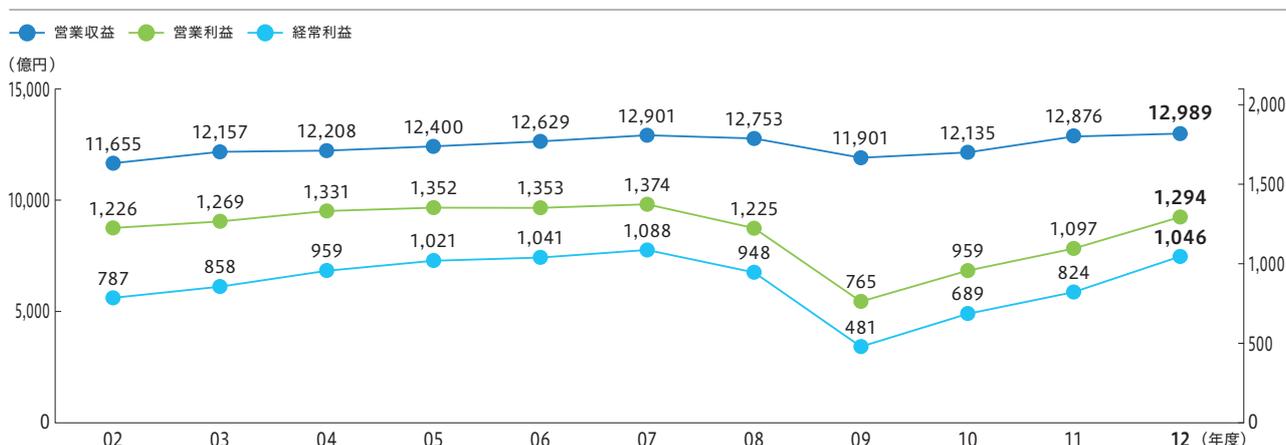


財務ハイライト(連結)

単位：億円

	2012年度	2011年度	2010年度
営業収益	12,989	12,876	12,135
(再掲:鉄道事業の旅客運輸収入)	(7,691)	(7,587)	(7,280)
営業費用	11,694	11,778	11,175
営業利益	1,294	1,097	959
経常利益	1,046	824	689
当期純利益	601	294	349
資産合計	26,137	26,429	26,724
負債合計	18,455	19,094	19,511
(再掲:長期債務)	(9,830)	(10,688)	(11,026)
純資産合計 ^{※1}	7,681	7,335	7,212

経営成績



2012年度の経営成績の分析

JR西日本グループは、基幹事業である鉄道事業において安全性の向上に全力で取り組むとともに、その他のグループ事業においては、各事業の特性を活かした、さまざまな施策の展開および保有資産の有効活用などに努めてきました。

2012年度については、運輸業において山陽新幹線やアーバンネットワークのご利用が好調だったことや旅行業・ホテル業が東日本大震災影響の反動などにより増収となったほか、北陸新幹線関連の工事増加による建設業の増収などにより、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも増加しました。

①営業収益

運輸業については、当社の運輸収入の増などにより、2011年度に比べ0.7%、58億円増加の8,449億円となりました。

このうち、山陽新幹線については、ダイヤ改正による「のぞみ」や「さくら」の増発や、「九州新幹線相互直通運転」を踏まえた各種メディアによるPRの展開などで西日本と九州の相互交流のさらなる拡大を進めるとともに、インターネット列車予約サービス「e5489」の利便性および価格優位性について積極的に情報発信

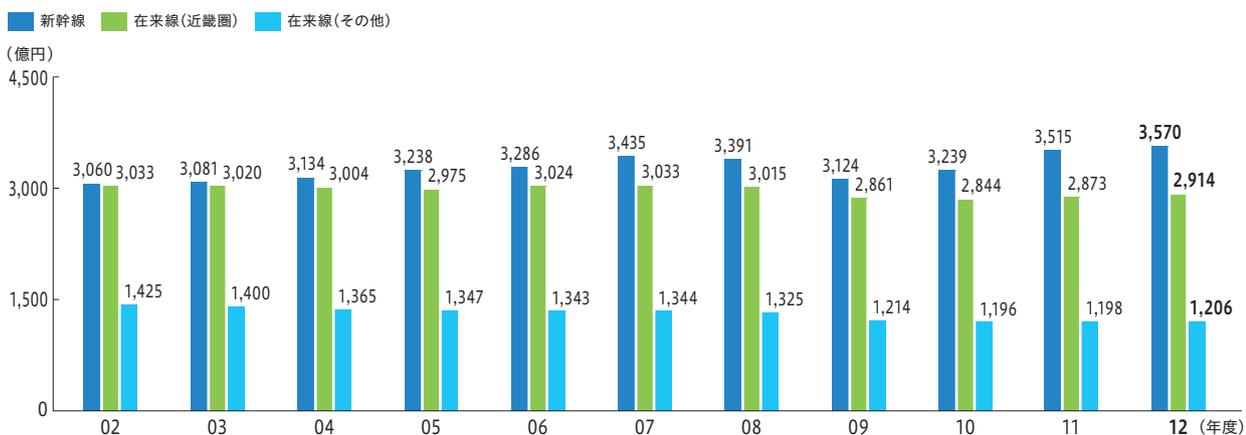
し、ご利用促進に努めました。これらの結果、2011年度に比べ1.6%、55億円増加の3,570億円となりました。

在来線については、昨夏に局所的な集中豪雨の鉄道被害が多数発生し、多くの列車の運休や遅延を余儀なくされたものの、ダイヤ改正による特急「くろしお」の増発やJR京都線・JR神戸線における新快速の12両運転の拡大など、利便性の向上に努めました。また、2011年5月に大阪駅にグランドオープンした「OSAKA STATION CITY」のご来場のお客様が2億人に達するなど、アーバンネットワークのご利用が好調だったことなどから、2011年度に比べ1.2%、48億円増加の4,120億円となりました。

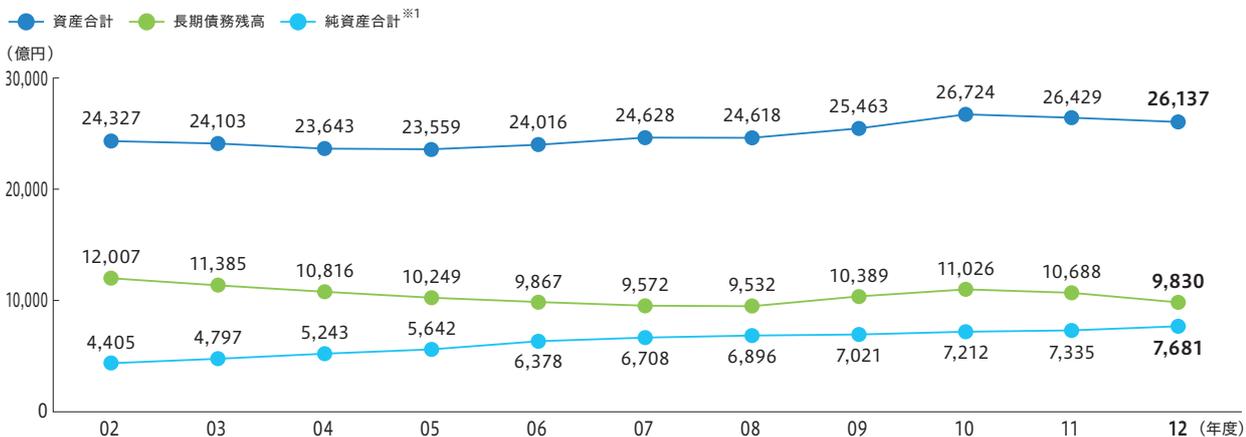
流通業については、大阪駅に商業施設「エキマルシェ大阪」、同駅や天王寺駅に複合型コンビニエンスストア「アントレマルシェ」、岡山駅西口に「ヴィアイン岡山」を開業するなど、駅の魅力向上に向けた取り組みを推進したことなどにより、2011年度に比べ0.5%、11億円増加の2,346億円となりました。

不動産業については、「OSAKA STATION CITY」の「ルクア」が好調に推移しており、また住道駅高架下の商業施設「ALBi住道」

鉄道事業の旅客運輸収入



財政状態



※1 2006年5月1日の会社法施行により、「資本の部」が廃止になり「純資産の部」が新設されました。それに伴い表記方法を変更しております。

や岡山駅西口の「さんすて岡山西館」を開業するとともに、天王寺駅ビルの「天王寺ミオ本館・プラザ館」や岡山駅地下の「岡山一番街」など、既存のショッピングセンターにおいて各種リニューアルを展開するなど、駅および周辺の開発を推進しました。しかし、社宅跡地などにおけるマンション分譲の減少などにより、2011年度に比べ2.9%、26億円減少の909億円となりました。

その他については、旅行業、ホテル業ともに東日本大震災影響の反動などで増収となり、また北陸新幹線関連の工事が増加したことにより建設業も増収となったため、2011年度に比べ5.7%、69億円増加の1,284億円となりました。

② 営業費用

営業費は、当社の減価償却費や「OSAKA STATION CITY」の開業経費が減少したことなどにより、2011年度に比べ0.7%、84億円減少の1兆1,694億円となりました。

③ 営業利益

営業利益は、2011年度に比べ17.9%、196億円増加の1,294億円となりました。

④ 営業外損益

営業外損益は、長期債務の返済による支払利息の減少などにより、2011年度に比べ25億円改善し、248億円の損失となりました。

⑤ 経常利益

経常利益は、2011年度に比べ26.9%、222億円増加の1,046億円となりました。

⑥ 特別損益

特別損益は、JR西日本の指導層の社員を対象とした新たな再雇用制度の設定による退職給付引当金戻入額を特別利益に計上する一方で、「OSAKA STATION CITY」における百貨店「JR大阪三越伊勢丹」にかかる減損損失などを特別損失に計上しました。これにより、2011年度に比べ27億円悪化し、49億円の損失となりました。

⑦ 当期純利益

当期純利益は、2011年度に比べ104.1%、307億円増加の601億円となりました。

詳しくはWEBで [JR西日本](#) [IR](#) [検索](#)